

インフォシス、ガートナーの全世界SAPアプリケーション管理サービスのマジック・クアドラントでリーダーの評価

インド・バンガロール(2013年10月15日): 本日、コンサルティングとテクノロジーのグローバル・リーダー企業であるインフォシスは、ガートナーの2013年全世界SAPアプリケーション管理サービスのマジック・クアドラントで「リーダー」に位置づけられたことを発表しました。Gilbert van der Heiden氏、Frances Karamouzis氏、Ruby Jivan氏、Ian Marriott氏により作成された同マジック・クアドラントは、様々なSAPアプリケーション管理サービスおよび各種SAPソリューションの提供元18社を対象に、複数年のSAPアプリケーション管理サービス提供におけるベンダーとしての能力を比較・評価しています。

ガートナーによると、「リーダー」とは、現在目覚ましい活躍を見せ、市場での業績および知名度を上げ、市場における方向性に明確なビジョンを持ち、製品ロードマップを超えて顧客を助け、市場でのリーダーシップのポジションを持続させるべく能力の向上に積極的に努めている企業のことです。

ハイライト

今回の位置付けはインフォシスの実行力とビジョンの完全性を評価。本マジック・クアドラントの評価基準:

- **実行力:** 競争力があり効率的および効果的なITパフォーマンスを実現し、売上、顧客維持、評判に肯定的な影響を与えるITサービス・プロバイダーのプロセス、システム、手法、または手順の品質および有効性を評価。
- **ビジョンの完全性:** ITサービス・プロバイダーが、現在そして将来の市場の方向性、革新性、顧客ニーズ、勢力図に関して説得力ある論理を提示できる能力。

コメント

インフォシス・グローバルSAP事業部リーダー兼シニア・バイス・プレジデント ラジェシュ・K・ムルティ:

「ガートナーよりSAPアプリケーション管理サービスのリーダーとして名前が挙げられたことは、当社の世界クラスのサービス提供力が評価されたことであると確信しています。当社は、お客様がビジネス価値を最大限に高められるようにお手伝いすることを第一と考え、多種多様なツールや手法を組み合わせた当社独自の価値創造フレームワークをさらに進化させることに継続的に注力してまいりました。現在は、SAPのインメモリ分析ソリューションであるHANAやSAPをベースとしたモビリティ関連製品などが生み出す機会をお客様が有効に活用できるようにサポートする業種別ソリューションの開発に集中的に取り組んでいます。」

ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

当社について

インフォシスはビジネス・コンサルティング、テクノロジー・ソリューション、アウトソーシング・ソリューションのグローバル・リーダーです。インフォシスは30か国以上の国々のお客様が最新のビジネス・トレンドよりも一歩先を行き、競合他社をしのぐ活躍が出来るように支援を提供します。戦略的インサイトと卓越した実行力を融合させた革新的なソリューションを共同創造することで、お客様が移り変わりの激しい世界に対応し、成長できるようにサポートします。

www.infosys.com を訪れ、年商74億ドルおよび16万人以上の社員をかかえるインフォシス (NYSE: INFY) が今日どのように未来企業を構築しているかお確かめ下さい。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のあるIT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2012年会計年度(2013年3月31日付)年次報告書(Form 20-F)や2013年第1四半期(2013年4月ー6月期)の四半期報告書(Form 6-K)を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.govでご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

連絡先

インフォシスリミテッド日本支店

マーケティングマネージャー 安藤 穰

Tel:03(5545)3251 Email: jo_ando@infosys.com